

主管課 保健福祉部 介護福祉課

目指す姿

高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって
健やかに生活できるまちを目指します。

目標指標

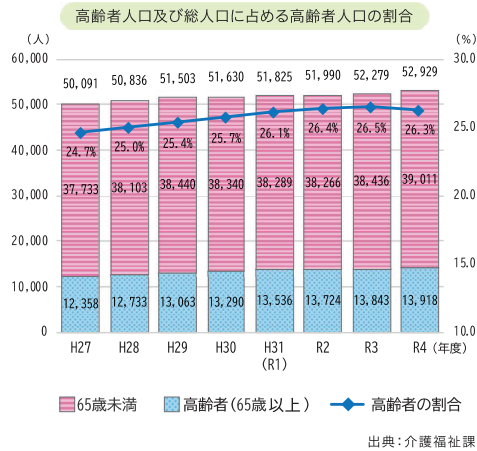
No	指標名	現状値 (2021)	目標値 (2027)
1	緊急通報システム見守りサポート事業利用者数(年)	355人	470人
2	出前講座実施会場数(年)	16会場	19会場
3	地域密着型サービス施設数	12施設	14施設
4	介護予防事業参加者数(年)	5,900人	6,640人

現状と課題

本市では、健康寿命と平均寿命がともに延伸しており、今後の高齢化の進展による要介護認定者の増加も予想されます。高齢者が充足感に満ちた活動的な生活を送るため、介護予防*活動を更に促進し、健康寿命の延伸に取り組むことが求められています。

また、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増加傾向にあり、買い物や通院など高齢者への生活支援の必要性も高まっています。

こうした状況の中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送るためには、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制(地域包括ケアシステム*)の構築及び更なる拡充に向け、行政だけでなく地域全体で取り組むことが求められています。



キーワード

生きがいづくり 健康寿命 介護予防* 生活支援 移動スーパー*
地域包括ケアシステム*

関連計画 高齢者福祉計画・介護保険事業計画

取組方針

介護予防活動を通じた生きがいづくりの推進

地域体操クラブ*やすこやか貯筋教室*などの介護予防*活動を通して、高齢者がいきいきと生活できる地域づくりを推進します。

高齢者の生活支援サービスの充実

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステム*を構築し、買い物支援や見守りサポートなどの生活支援サービスの充実を図ります。

在宅福祉サービスの充実

介護や支援が必要となっても住み慣れた地域で生活できるよう、在宅医療・介護の連携体制の推進を図るとともに、介護の負担軽減のため在宅福祉サービスの充実を図ります。

福祉施設の充実

介護が必要な高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、福祉施設の充実を図ります。



おやしバンド(みらい写真)



シルバーリハビリ体操

わたしたち市民にできること

- 住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、外出や運動を心がけます。
- 地域活動に参加し、趣味や生きがいを持って過ごします。
- 日頃から、近所の高齢者への声掛けや手助けを行います。
- 困ったときは、民生委員や地域包括支援センター*に相談します。

